

水準の高さを誇る作品

『創造』の結実を発表

学院大美術化学部卒研展

金沢学院大学美術化学部第8回卒業研究制作展が2月17日～21日、石川県立美術館を会場に開催され、在学中に学んだ研鑽の成果を披露しました。

次年度から芸術文化学科に名称変更する美術工芸学科の展示では、日本画、洋画、陶芸、漆芸の各分野に高い水準の作品が揃いました。それぞれの分野に、文化功労者、日本芸術院会員、人間国宝など、我が国を代表する指導者を擁する本学ならではの事です。また、情報デザイン学科では、独創的な発想が来館者の目と耳を奪って、また、また、専攻科学生作品も展示されました。



文化財学科発表会

=県立美術館ホール

化学科に改組する文化財学科では、展示に加え、19日に美術館ホールで研究発表会も行われました。研究発表会では、佐々木圭一准教授の講演「サンゴ礁からみた気候変動」のあと、上田千鶴さんの「石川県内出土ガラスの科学的研究」をはじめ4人の研究発表がありました。



洋画作品に見入る人々=県立美術館

— 学びの成果、いま花開く —

祖母と同じステージに



学生から感謝の気持ちを込めたプレゼントが贈られました=金沢歌劇座大集会室

金沢学院短期大学の第10回卒業研究展は、2月19日～21日、金沢歌劇座で行われました。今回は、ライフデザイン総合学科となつて初めて送り出す卒業生の発表となりました。1階と3階展示場で研究発表と作品展示、2階大集会室ではファッションショーが行われ、2年間の研究と創作の成果をひとつと表現しました。

今回のファッションショーは、『進歩』をテーマに、オープニングの「虹」で仲間の有り難さを、シニア世代への感謝、ふるさとへのぬくもり、そのほか環境問題なども「衣装」で表現しました。シニアファッションでは、学生の祖母3人がモデルを務め、孫娘とのほほえましい共演となりました。「ファッション」という華やかさの中に深い意味合いを込めた、創造性あふれる発表に対して、大きな拍手が送られていました。

食物栄養専攻 特別研究発表会

金沢学院短期大学専攻科食物栄養専攻の特別研究発表会が、2月22日に534講義室で行われました。専攻科学生13人が、野菜の保存方法やメタボ対策、郷土料理などの身近なテーマを科学的に解析した研究成果をパワーポイントを使って発表しました。発表会場に集まった約25人の学生・教職員から、鋭い質問や貴重なアドバイスをいただきました。

専攻科発表会 11534 講義室

